

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	DD462/環境政策論 (Environmental Policy)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	「脱炭素の時代」を読み解く		
担当者名 (Instructor)	大倉 季久(OHKURA SUEHISA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CCS3310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

現代の環境政策をめぐる生じている問題について、「持続可能性」の概念の理解に基づいて、具体的な事例を用いて説明できるようにすること。環境政策の内容や、政策の立案・決定・実施過程の考察を通して、環境問題の現代的な課題や将来的な争点について理解を深めること。

This course has three key learning objectives.

1. Demonstrating familiarity with major environmental issues.
2. Applying the concept of sustainability to better understand an environmental issue and policy.
3. To evaluate the advantages and limitations of environmental policy today.

#### 授業の内容(Course Contents)

この講義では、「持続可能性」をキーワードに、「脱炭素」を目指す現代の環境政策の新たな動向とそれがもたらす問題や争点について考える。とくにこの講義では、気候変動対策、エネルギー転換、第一次産業、政策統合など、環境政策のなかでも、今日、合意や議論の着地点を探り当てるのが難しくなっている政策領域に焦点をあてて、今後の環境問題のゆくえと環境政策の争点について新たな展望を得ることを課題とする。

This course considers new trends in environmental policy aimed at “Decarbonization” and the problems and issues they bring. In particular, this course will focus on policy domains such as climate change, renewable energy, forestry, and policy integration, where consensus building is difficult today. The challenge is to obtain new perspectives on the future of environmental problems and solutions.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション—何を学び、何を考えるのか：講義の概略と解説
2. 持続可能性(サステナビリティ)とは何だろうか
3. 脱炭素の時代の到来(1)地球環境政策の登場
4. 脱炭素の時代の到来(2)京都メカニズムの矛盾
5. 脱炭素の時代の到来(3)脱炭素の時代の到来①京都議定書からパリ協定へ
6. 脱炭素の時代の到来(4)脱炭素の時代の到来②新しい社会的分断の浮上
7. グリーン・イノベーションの現在地(1)再生可能エネルギーの実力
8. グリーン・イノベーションの現在地(2)エネルギー転換の政策構想
9. グリーン・イノベーションの現在地(3)エネルギー転換と地域資源のゆくえ
10. 森林政策の教訓(1)荒れる森林は何を問うのか
11. 森林政策の教訓(2)森林政策の「意図せざる結果」をめぐる
12. 持続可能な社会のデザイン(1)政策統合という模索
13. 持続可能な社会のデザイン(2)SDGs とファイナンス
14. まとめとふりかえり—日本社会のこれからの見据えて

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業内で紹介する事例、キーワードを中心に、参考文献、新聞記事、インターネット等を駆使してより具体的で幅広い理解を得られるように努めること。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%) / 毎回のリアクションペーパー、及び小テスト(30%)

#### テキスト(Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

1. 大倉季久、2017、『森の持続可能な・エコノミー』、晃洋書房 (ISBN:4771029385)
2. 高橋洋、2017、『エネルギー政策論』、岩波書店 (ISBN:4000289187)
3. 森川潤、2021、『グリーン・ジャイアント』、文藝春秋 (ISBN:4166613278)

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)